

令和4年度生涯学習部研修会（西濃地域）報告

日時：令和4年9月17日(土) 13:00~17:30、18日(日) 9:30~16:30

場所：WEB研修会（ZOOMを使用）

テーマ：臨床現場で活用できる症例検討の基礎

講師1：天野 徹哉先生（常葉大学 保健医療学部 理学療法学科 准教授）

講師2：井上 優先生（社会医療法人 全仁会 倉敷平成病院）

講師3：尾藤 貴宣先生（岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

参加人数：22名(スタッフ含)

【当日の様子】

生涯学習部研修会（西濃地域）は、常葉大学の天野徹哉准教授、倉敷平成病院の井上優先生、岐阜大学医学部附属病院の尾藤貴宣先生によるWEB研修会で「臨床現場で活用できる症例検討の基礎」についてご講演頂きました。

症例研究の位置づけや、本来理学療法士に求められる、臨床技能、教育、研究の3つの柱の重要性や実体験を踏まえた問題点にも触れて頂き、臨床研究の先も踏まえた内容もご講演頂きました。

事前資料の課題を用いてエビデンスの使い方として、定量的なデータなのか、定性的なデータなのか含めて論文を見る時の情報の見方をご講演頂きました。基準値と標準値など用語の定義から、エクセルデータを用いた算出方法など、データの作り方も含めてご講演をいただきました。標準範囲を作るなどして、病態把握や患者指導にも生かすことができる内容が多くあり、日常での臨床業務の中でデータを積み重ねていくことが重要だと再認識しました。模擬患者や模擬データを用いて検者間における誤差や尺度の違いによる数値の変化などデータ測定における現状と課題を身近に感じることができ、実際にRコマンドを用いて解析も行いました。日ごろの臨床における検査感信頼性や検査内信頼性の観点から理学療法士が観察評価をどのように扱っていくかを考えなければいけないと感じました。文献検索の行い方や評価で得られたデータと文献で得た情報をどのように解釈するかも非常に重要であると感じました。

最後に、貴重な時間を割いてご講演頂きました天野先生、井上先生、尾藤先生をはじめ会員の皆様WEB開催に向け準備を含め本研修会参加にあたりご尽力いただきました先生方に心より御礼申し上げます。



岐阜県立常葉大学
保健医療学部
理学療法学科
2022年9月17日

令和4年度生涯学習部研修会 - 臨床現場で活用できる症例研究の基礎 -

資料1

エビデンスと症例研究

データ測定

データに関する基礎知識の整理

常葉大学保健医療学部
天野 徹哉

社会医療法人 全仁会 倉敷平成病院
井上優

岐阜大学医学部附属病院
尾藤 貴宣



生涯学習部 西濃地域担当 小出 紘靖